

～ 豊かな学びの実現 ～

本校を卒業した白石雄大さん 全国V！おめでとう！！

ワイドえひめ

WIDE EHIME

今春、丹原高校(西条市丹原町願連寺)を卒業した白石雄大さん(18)が、初めて参加した「第9回Kサクソフォーンコンクール」(一般社団法人「K国際コンクール」主催)の動画審査部門で1位に輝いた。高く評価された「歌う」音色を武器に、4月から東京の音楽大学へ進み、さらに胸を膨く。

歌う音色でKサクソフォーンコンクール全国1位に輝いた白石さん



「歌う」サクソクス全国V

コンクール・動画審査部門

中学1年の時にサクソクスを始めた白石さんはB部門(20人以下編成)で金賞を受賞し、丹原高では音楽部(成)に所属し、少人数の県代表として出場し、少人数の県代表として出場し、20年度の全日本吹奏楽を獲得。宮大進学を目前に、



伊東さん(右)のピアノに合わせてサクソクスを奏でる白石さん

丹原高卒業した白石さん

音色の美しさ評価 東京の音大入学へ



「全国1位は初めてでびっくりした」とは、審査員からは「音色の美しさ」が印象的。表現力もあり、この曲がどんなふうにして歌うのかと求めているのかと捉えられていると評された。自由曲で参加するサクソクスは、クラリネットのよう。Kサクソフォーンコンクールでは、伊東さん(右)の友人の演奏者が作エの表現力ある音が曲した「届かぬ想い」融合する。他の楽器に選んだ。「シンブル」比べ歴史が浅い分、な旋律の和心、歌心のろんな可能性がある。ある(伊東さん)琴用と語る白石さん。大学の演奏曲で、白石さんでは、これまで人数が足りずできなかったア自作「コンクール」とい、今後はオーディションを知らぬ人にもきいて感じてもらえる曲がよかった。

(中田佐知子)

演奏者になる夢の実現のために、音楽の大学に進学した白石君。応援しています。